こびとのおうちえんLetter 12月号

令和3(2021)年12月3日発行　第129号

山ですごすことの多かった11月。山の広場には、前からのおうちをきれいにしたり、新しいおうちをつくったりしてごっこあそびをたのしんでいる。(たまと)(ビレバー)(ひろのぶ)(ゆうせい)(はるだい)(みらい)(あかり)(かほ)と山の広場にいった。

忍者修行の(ビレバー)(ひろのぶ)(たまと)は、あっきーの家の下にもぐったりしている。私も入れてもらった。人間に気づかれないように移動しなくてはならない。

「木がくれの術」「竹がくれの術」「はっぱがくれの術」など身をかくし、いきをひそめ、「ねえ、みえる？」とかくにんしながらあそんでておもしろかった。坂道をかけおりる修行には(かほ)も加わって走った。どんどん山であそぼう!!

＝12月のお母さんグループ＝

22日(水) 13:00 ～ 15:00

場所　**もみじの家**

内容　フィーリンググループ

～自分をゆっくり感じる時間、メンバーの きもちを きき合う時間～

参加の方は事前にご連絡下さい。当日でもOKです。

11月はこんなことしました

- うんどう会ごっこ
  - リレー
  - パンケーキくいきょうそう
  - つなひき
  - くるまきょうそう
  - なわとびきょうそう
  - かりものきょうそう
- ケイのおべんとうばこ作り
- 赤子山へのぼる
- しいの実ひろい
- 山の広場であそぶ
- 未女のほうきづくり
- おまつりのおみせやさんごっこ
- 干しいもづくり
- 干し柿づくり
- 石城山にのぼる
- 茶わんむしづくり
- 鼓ヶ浦であそぶ
- 神護寺～黄山へのぼる

etc…

おしらせ　冬休みは、2021.12/28(火)～2022.1/4(火)です。

12月のスタッフプラン

くさぎの実で染めもの

6日(月) おべんとうのひ

弥山にのぼろう　★おべんとう等準備をよろしくお願いします。

詳細はメールでお知らせしたとおりです。

おたんじょうび おめでとう!!

3日　おおかわしおりちゃん(6さい)

_________________ の様子をおしらせします。

地震時の避難訓練をした。ひなんくんれんのあと、どうだった？と全員にきいたら、「むずかしかった」と(あかり)が言った。「どんなところが？」ときくと、「じしんがしてないのにじしんがあったときと思ってやるのがむずかしかった。」(あかり)が全員の前でしっかり話せてびっくり。(11/1)

かえりのミーティングの最後に、今度の4日は、(あさい)の就学時けんしんの日だから、「どんなきもちで今いる？」ときいた。そしたら、(あさい)は、う～んと首をかしげ、そのうちうつむいたりしながら、少し時間をかけて、「あのね、いったことないから少しこわい。」と言った。

私は、(あさい)が、ずっとがんばって、そのひとことを言ったんだなと思ったし、(あさい)が自分のきもちをちゃんとつかんで すなおに言ったことをとても尊く感じていた。ごまかさずに。こわいと言ったことで、(あさい)は、涙がでてきた。でも、きちんと自分でふるい立たせてもいた。つよくなったねえ。(つよいことがよいということでは
→わからない、ではなく、「こわい」と言った(あさい)のことばは、ガツンとひびいた。

私は、そんなふうにいたとは知らなかったから、ちょっと申し訳ない気もちにもなったしだ、(あさい)の本心にふれられて、それをみんなと共有できてうれしいと思う。

私は、きれいや美しいということをそのことばでなく伝えたいと思っているけど、(あさい)の姿は、その(美しいの)対象だ、と思った。もう就学時けんしんをすませた(ゆうり)(あこ)(ほのか)が近くにいって話をして安心させてあげたいきもちも、見ていて

キッチン スタッフ より

私の子どもの男子3人は、みんな部活でソフトテニスをしている。(長男は中学生のときのみ) ソフトテニスは基本、前衛と後衛のペアでプレーする。私は、自分がプレーヤーとしての経験がないので、技術的なことはいまだにわからない。でも、子ども達を見ていると、ダブルスのテニスの1番難しいところは、技術的なうまさではなく、ペアとの関係ではないか？と思うことがよくある。もちろん技術も大事だが、それは練習すればそれだけうまくなっていく。でも、1人づつはうまくても、試合で2人がうまくかみ合わなければ勝利にはつながらない。

もっとこうしてほしいということを強く言いすぎて険悪になるパターン、言いたいことはあるけど抑えすぎて自分の中に不満がたまるパターン、いろいろあるようだ。また、テニスでは技術と同じくらい「声を出す」ということが大事といわれる。点が入ったときは喜びの声とともにお互いに腕をあげてハイタッチをする。点を失ったときも、お互いの手を軽く合わせて、一言声をかけるなどができればいい。

宙のペアの子は、宙が言うには「いつも冷静」な性格。宙が試合中にハイタッチをしたくても、恥ずかしいのか、すかされてしまうらしい。また、最近はコロナの関係で運営側からも「ハイタッチ禁止令」が出ていることもある。もちろん、ハイタッチとかいうものは、湧き上がる気持ちからするものであって、強制的にさせるものではない。だから、宙の残念に思う気持ちはわかるけど、私にはどうしてあげることもできない。

しかし、この前の試合で、宙とペアの子がいいプレーをしたときやミスをしたとき、お互いにかけ寄って、ラケットとラケットをカチンと合わせる様子が見られた。いい雰囲気だったので、試合の後、「あれはどうして？」と聞くと、「ハイタッチとかは恥ずかしいみたいだから、ラケットでタッチしようと俺から提案したら、わかったと言ってくれた」ということだった。

小さいことかもしれないが、私は感心した。思うようにしてくれないペアに腹を立てて投げやりになったり、伝えることも諦めてひとり落ち込んだり、そのようなことを兄や他の子でもよく見てきたので、宙があっさりとそこを乗り越えて、相手の思いも汲みながら、自分の思いも実現させていることが、いいな～と思ったのだ。

学校での勉強もだんだん難しくなってきて、最近は「これやって意味あるん？これホンマに覚えんといけんの？」という疑問も出てきたようで、悩んだり、葛藤したりしている様子。親からの声かけも正直限界を感じるこの頃。でも、宙の力を信じて見守っていこう。大丈夫だ、と思えた。

大下里香

石城山。(みらい)(あかり)と山からおりてくるとき、(あかり)が、「小さいあながいっぱいあるね。」「なんのおうちかねー」とか言って土の穴をみている。私が「小さいどうぶつか小人のおうちかねえー」と言ったら、(あかり)が「それにしては小さすぎるなあ。」(ようこ)「じゃあ、ありかなあ。」(あかり)「ありにしては大きいかなあ。」(みらい)が、「ありがさあ、10匹くらいで、あたまをぐりぐりぐりぐりってしてあなをあけたかも！」(11/12)

(あこ)とりかさんがごはんをたべながらお話してる。(あこ)が、10と10あわせたら？20…20と10とあわせたら、30…というかんじでこたえあわせしながら、90まできたとき、(あこ)「90より おおくなったら何になる？」ときくと、(かのん)が「すごい大変なことになる。」(11/10)